



中学生学習支援事業

さやまっ子・茶レンジスクール

平成28年度から、中学生の基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を目指して、学校の授業以外にも学習できる「さやまっ子・茶レンジスクール」を開校しています。

このスクールは、市内8つの学校区ごとに会場を指定し、元教員や学校支援の講習を修了された方などが学習支援員として参加し、生徒一人ひとりの習熟度に応じて学習をサポートします。実施科目は国語・数学・英語の3教科で、無料で参加できます。また、夏休みや冬休みには、2・3年生を対象に、学習塾の専門講師が集中講義を行います。

「自宅ではなかなか勉強に集中できない」「分からないところが聞けずに困っている」など、家庭学習でお困りの生徒も、このスクールなら自分のペースで学習を進められ、分からないことも学習支援員が丁寧に教えてくれるので、集中して勉強に取り組めます。

29年度は、5月から3月の土曜日または日曜日に2時間(年間30回程)開校します。開催日や申込み方法など、詳しくは各学校でお知らせします。

問合せ教育センターへ ☎2956-2299

地域の子どもの居場所づくり事業

WAKU☆DOKIはっぴー

地域のNPO法人と青少年育成水富地域会議が、「遊び」と「学び」と「食」を通じて、地域の子どもの豊かな育ちを支えることを目的に、今年2月にスタートした事業。3月25日(土)は会場の広瀬公民館に、小・中学生28名が集まりました。

「遊び」では、地域のボランティアと鬼ごっこなどの昔遊びを楽しみ、「学び」では、無料学習塾のスタッフが宿題や不得意な教科の補習をサポート。「食」では、地場産野菜を使った一汁三菜の昼食をスタッフと一緒に食べました。参加した小学生は



「おばあちゃんの家遊びに行ったときみたいで、楽しかった。次も参加したい」と、うれしそうに話していました。

来園者と動物の安全を守ります

3月17日(金) / 動物脱走捕獲訓練(こども動物園)

ニホンザルが脱走したことを想定した訓練を実施。サル役の職員が園内を駆け回ると、飼育員が来園者を安全な場所に退避させ、無事にサルを保護しました。



国籍を越えた仲間との交流

3月5日(日) / SIFA国際交流の集い(狭山元気プラザ)



餅つきに挑戦した後、会話をしみながら、参加者自らが調理した12か国の郷土料理を堪能。最後は全員でダンスを踊り、交流を深めました。

27年度さやま市民大学地域ジャーナリスト養成講座

修了生がお届けします

さやま・レポート (子育て②)



2~4歳までの子ども達の遊び場と、お母さんの交流の場として19年前に始まった「プチっ子クラブしゅっぽっぽ」。毎月2回開催し、季節の行事をはじめ、絵本の読み聞かせや歌、昔遊びなどを楽しんでいます。

取材した日は、餅つきの真っ最中。「ぺったん!ぺったん!」「ヨイショ!ヨイショ!」と、みんなで声をかけながら、臼に入ったもち米を、小さい杵でついていきます。見つめる子ども達も目をキラキラ輝かせながら、出来上がりを待っていました。ホカホカのお餅を頬張ると、子ども達もお母さん達も笑顔でいっぱい。

みんなが笑顔になれる「しゅっぽっぽ」に参加してみませんか。

◆プチっ子クラブしゅっぽっぽ(根岸2-17-24-101) 日時第2・4月曜日(変更の場合あり)、10時~11時30分 年会費3,000円 駐車場なし 問合せ総合子育て支援センターへ ☎2937-3624

高校生が身近な相談相手になりました

3月27日(月)~4月5日(水) / 高校生一日民生委員体験(市内各地)

担い手が不足しがちな民生委員・児童委員への関心を高めてもらおうと、体験会を実施。高齢者世帯への訪問やコミュニティサロンの運営を手伝いました。地域福祉の重要性を身をもって経験できたようです。



相手の気持ちを引き出す民生委員の会話術に感服

往年のヒーロー・ヒロインが大集結!

3月11日(土)~6月25日(日) / 企画展「僕たちのヒーロー伝説」(博物館)

昭和の時代、子ども心をつかんで離さなかったヒーローやヒロインたちの大型フィギュアやおもちゃなど約500体が勢揃い。食い入るように見つめる来館者の目は、子どものように輝いていました。



幅広い年代のキャラクターが登場、家族で楽しめます

息の合った動きが観客を魅了

3月18・19日(土・日) / 体操・舞踊フェスティバル(市民交流センター)

公民館のサークルや高校のダンスクラブ、小学生など18団体が出演。チアダンスやよさこい、民踊などの舞踊に加え、太極拳や3B体操なども披露されました。目の前で繰り広げられる躍動感あふれる演技に、観客も大きな拍手で応え、満員の会場は熱気に包まれました。



子どもと大人の混成チームでジャズダンスを披露



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

ふるさと狭山の魅力に出会う展示会

3月10日(金)~13日(月) / 残しておきたい狭山の風景展(市民交流センター)

広報さやまでおなじみの市内在住の童絵作家・池原昭治さんが描いた原画と、そこに描かれた風景を撮影した市民の写真を地域ごとに展示。来場者は、ふだん何気なく見ていた風景にまつわる歴史や物語を知り、地域への愛着を深めたようです。



講演会では、池原さんから狭山にゆかりのある昔話が語られました

中学生が描く「狭山の魅力づくり」

3月23日(木) / キャリア教育発表会(市民会館)

まちおこしの企画に西武学園文理中学校の2年生144名が挑戦しました。さやま市民大学の協力を得て、商店街のお祭りやご当地スイーツを使ったPR展開など6つのプランを発表。活気ある狭山の未来を見せてくれました。



キャラクターに扮して、プランの楽しさを表現